

A clownfish with orange and white stripes is swimming in a tank, surrounded by numerous sea anemones with long, translucent tentacles. The background is a soft, out-of-focus view of the anemones.

Team くまのみ “共生”

真の学都を目指して
～ Borderless Campus in SENDAI ～

村岡葉子 高橋麻憂
柴田北斗 内田有美
川上 洗一 佐藤有莉佳

1. はじめに
2. 学生アンケート結果・分析
3. 課題・仮説
4. インタビュー・考察
5. アクションプラン（実行案）
6. 活動総括

共生の定義・課題

学都仙台

テーマ：学生を中心とした共生

フィールドワーク

アンケート

10月

都市デザインワークス

課題：学生は「無知の知」に気付くことが必要

11月

enspace（シェアオフィス）

仮説：「無知の知」を知るためには、良い問いが必要なのでは？

11月

大学コンソーシアム京都

12月

金沢市 市民協働推進課＋まちづくり学生会議

人種・言語

歴史・文化

環境・自然

バリアフリー

共生とは？

広辞苑より

- ①ともに所を同じくして生活すること。
- ②〔生〕異種の生物が行動的・生理的な結びつきをもち、一所に生活している状態。

仙台多文化共生センター



人種・言語

歴史・文化

環境・自然

バリアフリー

バランス

仙台多文化共生センター

仮説：偏りがあるのではないか？

特に「学都」構想に関して、偏りがあるのではないか？

学都に注目した理由

はじめに

アンケート

仮説

インタビュー

実行案

まとめ



大学院生@仙台


人材育成関係

教育関係

大学生@仙台

首都圏大学卒業

身近な課題として自分事として取り組めるのでは？



真の学都を目指して

~Borderless Campus in SENDAI~

仙台の学都に足りないものとは？

はじめに

アンケート

仮説

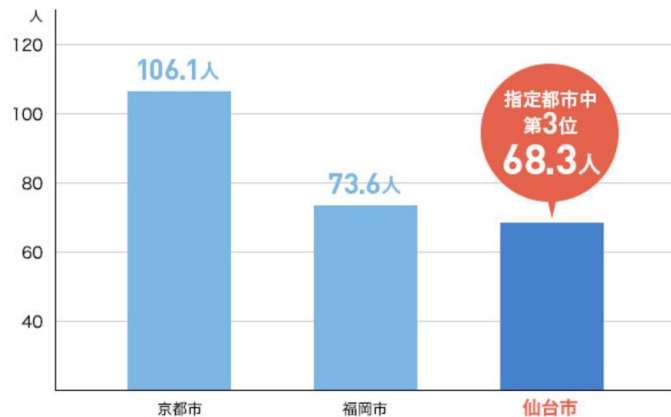
インタビュー

実行案

まとめ



実際に仙台の学都としての取り組みを知らない人が多いのではないかと？
日本内なら京都や金沢の方が有名。
仙台の強みってなんだろうかと？



人口1,000当たりの学生数

仙台の大学生院生は約3%しか仙台に残らないといわれている。
学生時代に地域とかかわる機会が無いからこそ仙台では満足できず、
愛着もなく首都圏へいなくなってしまうのでは？



仮説①：学都仙台を実感・満足している人は少ないのではないかと？



活動的な学生



“無知の知”を知る方法
▶活動的な学生にヒアリング

京都・金沢の学生

仙台の学生

学都仙台への実感・満足度
▶全体の学生にアンケート

活動的でない学生



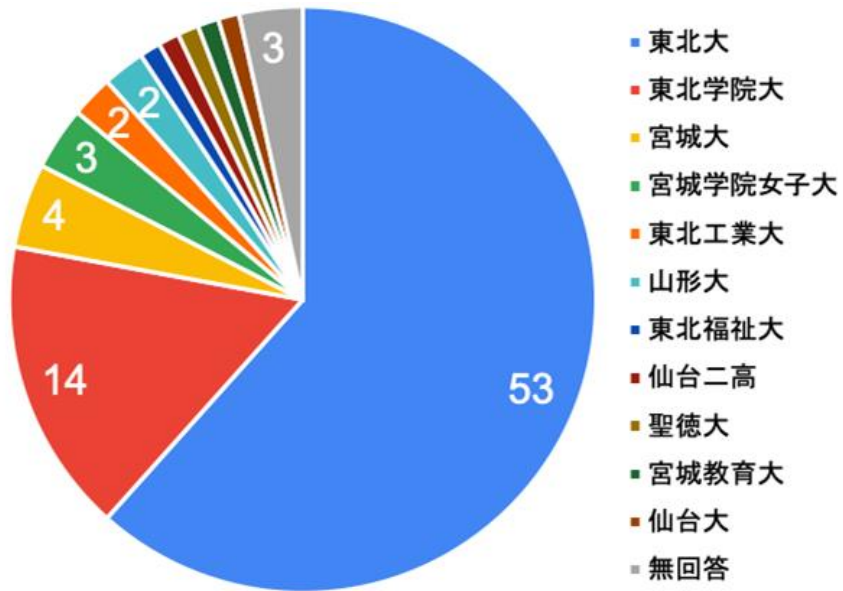
▶ 学生へWEBアンケートの実施



回答数：86名

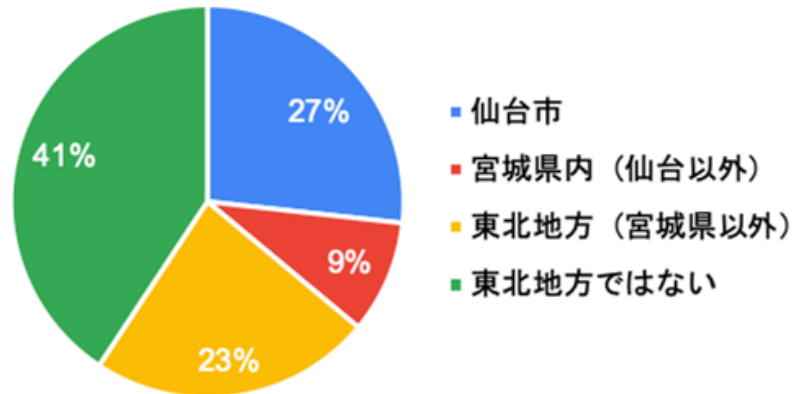
基本情報

通っている学校



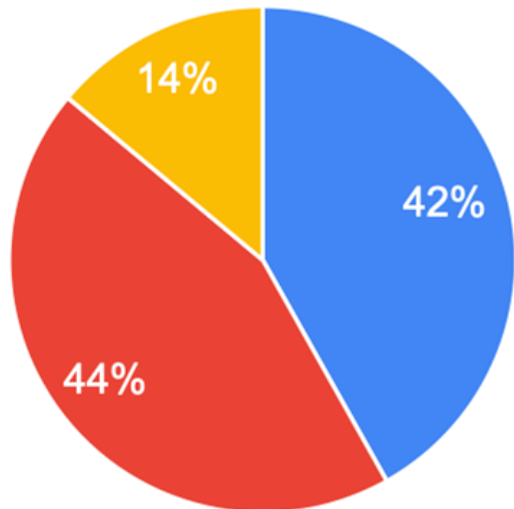
高校生を含め、10以上の大学の学生から回答
東北大生が61%、次いで東北学院大が16%

出身地



半数以上が県外出身という結果からも
仙台＝全国から学生が集まる街

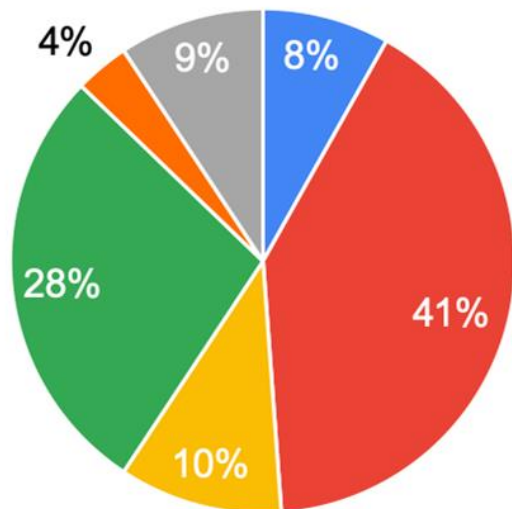
聞いたことがあるか



- 聞いたことがあり、意味も知っている
- 聞いたことはあるが、意味は知らない
- 聞いたことがない

86%が聞いたことはあるが、そのうちの半数は「意味は知らない」と回答

実感しているか



- 十分実感している
- やや実感している
- どちらとも言えない
- あまり実感していない
- 実感していない
- 意味を知らない

半数が実感しているが、28%は「あまり実感していない」

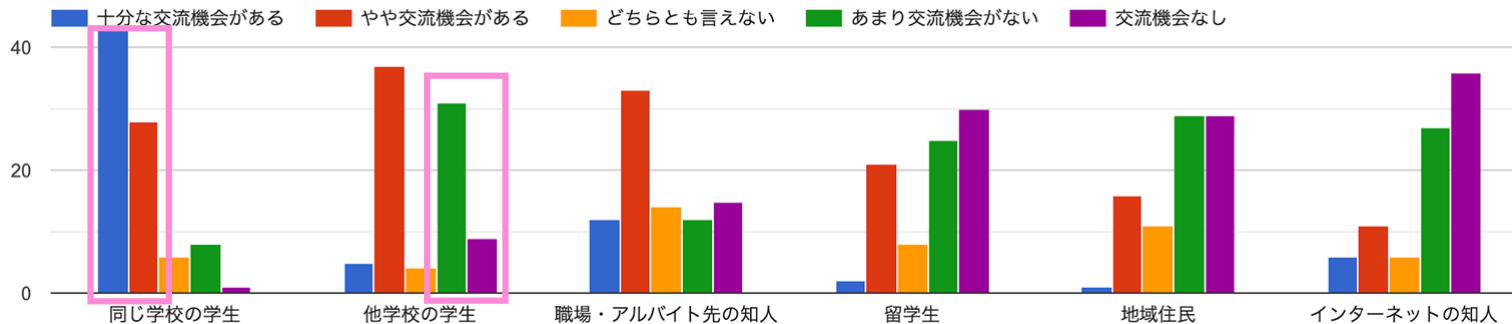
実感の理由

- ・ 大学、学生の数が多
- ・ 留学生が多い
- ・ 学生向けのサービスやイベントが充実
- ・ 県外からも多くの学生が集まる
- ・ 学生団体や祭りの活発さ

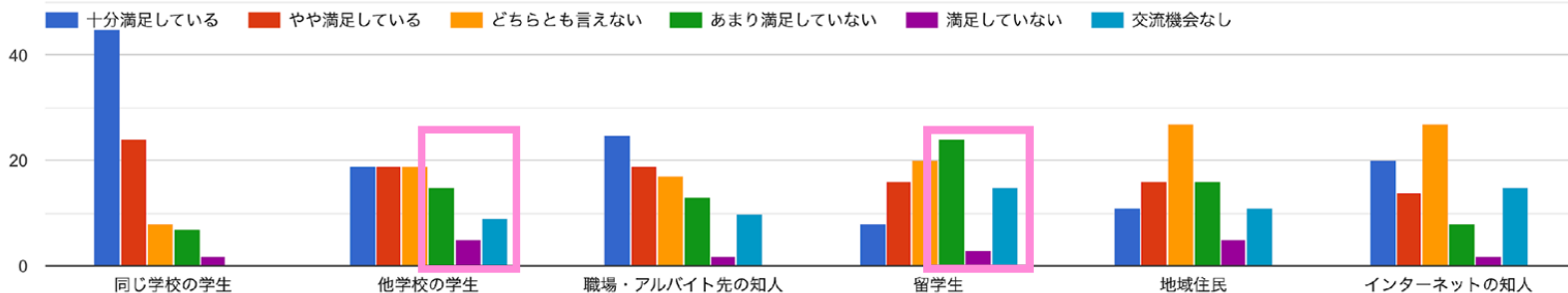
実感しない理由

- ・ 大学間の連携が感じられない
- ・ 図書館、美術館、博物館の少な
- ・ 具体的な恩恵を感じない
- ・ 学生が多いだけで、活かせていない
- ・ 他の学校の学生との関わりがない
- ・ 学都の定義が分からない
- ・ 仙台市からのサポートを感じない

交流の機会



交流の満足度



「同大学」との繋がりが強い一方で、「他学校」、「留学生」、「地域住民」との繋がりが希薄
 →同大学の外と関わりを持たないまま就職、仙台を離れてしまうのでは？

他者との交流機会

はじめに

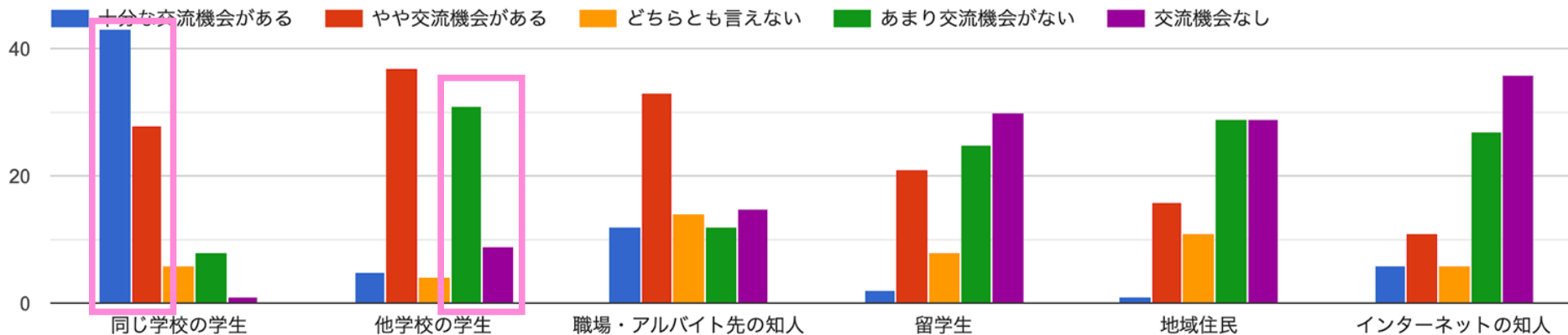
アンケート

仮説

インタビュー

実行案

まとめ



同じ学校の学生との交流は十分であるが、他学校の学生を初めとして交流機会の少なさが目立つ
→自分が通う大学の学生との関わりを持たないまま就職し、仙台を離れてしまうのでは？

他者との交流の満足度

はじめに

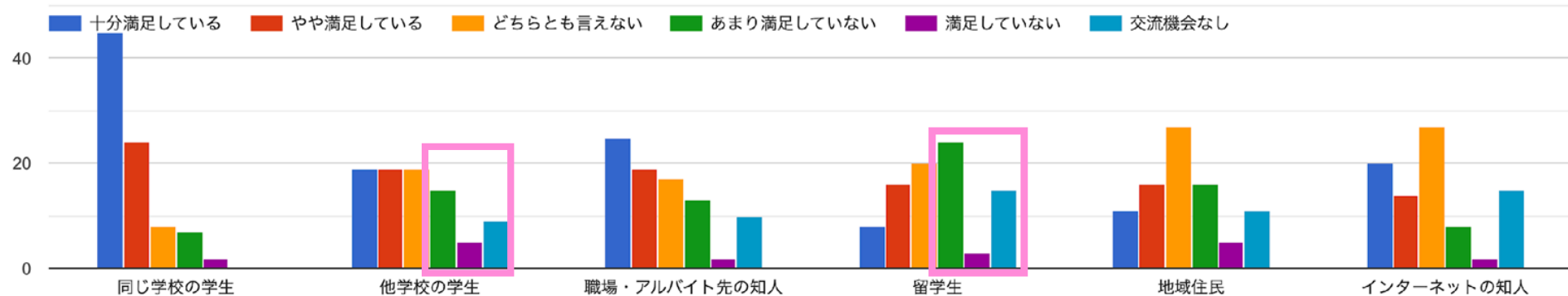
アンケート

仮説

インタビュー

実行案

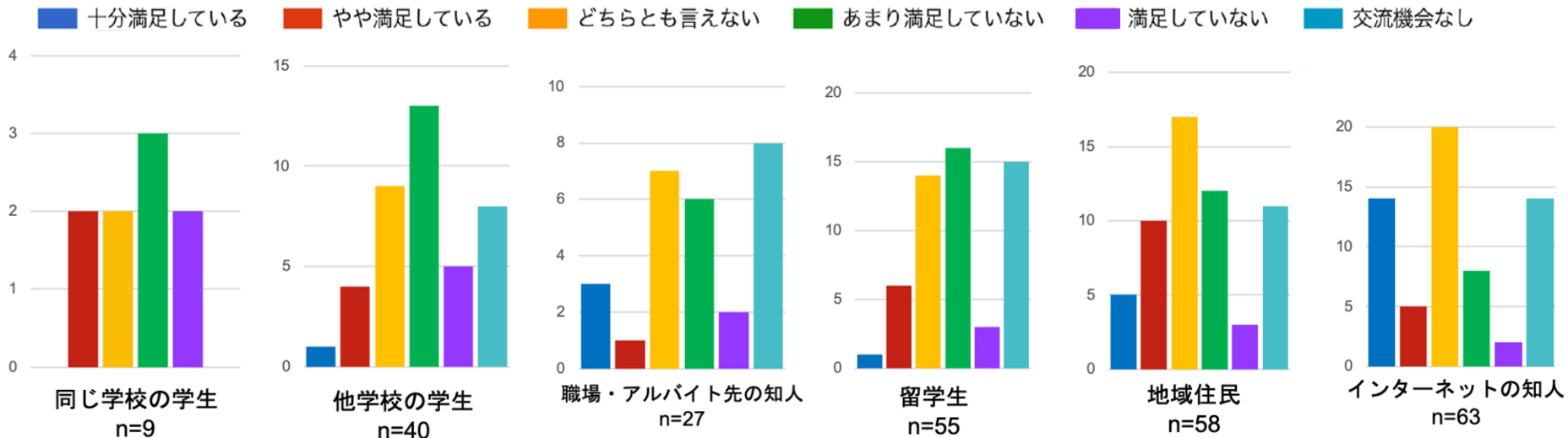
まとめ



満足度の低さ≒交流意欲の強さだとすれば、

他者との交流・活動の意欲はあるが、**行動できない・その体制が整っていない可能性**

「あまり交流機会がない」、「交流機会なし」と回答した人に絞り、
それぞれの属性ごとに交流の満足度を分析 → 交流意欲をより明確化



交流機会の少なさが目立つ「地域住民」、「インターネットの知人」と比較しても
他学校の学生との交流意欲の強さが顕著といえるのではないかと

学生向けサービスの利用状況

はじめに

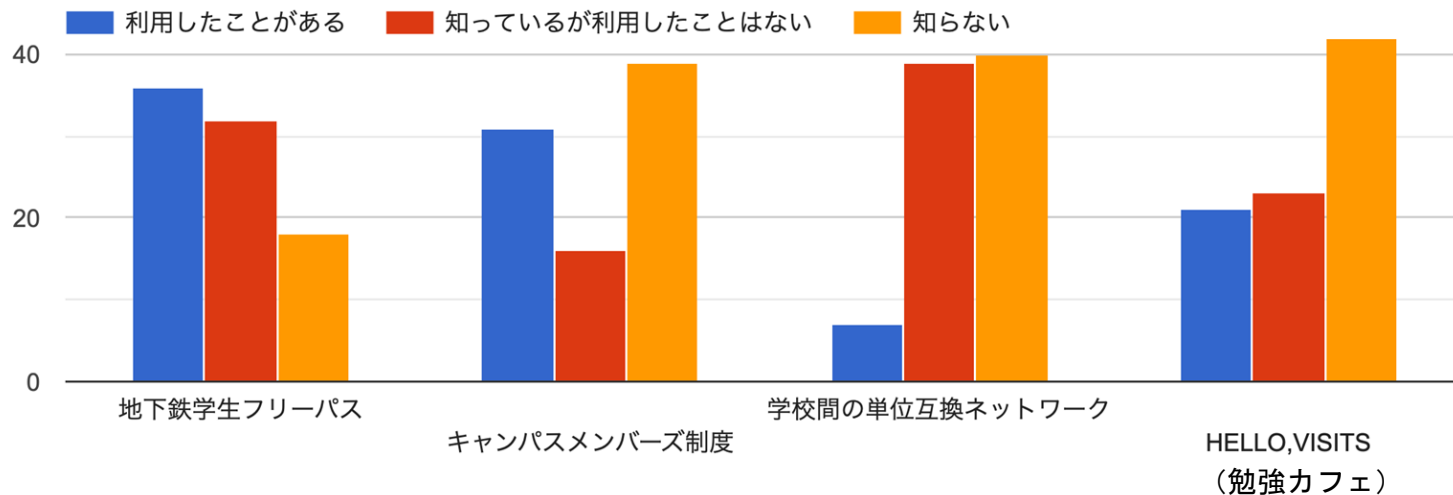
アンケート

仮説

インタビュー

実行案

まとめ



学生意見

- ・ 単位互換の仕組みをもっと知りたい
- ・ 美術館無料の制度を知らなかった
- ・ フリーパスの対象が全ての交通機関になってほしい
- ・ 週2～3回から利用できるフリーパスがあればいい
- ・ サービス全体の知名度が低く、もっとPRしてほしい

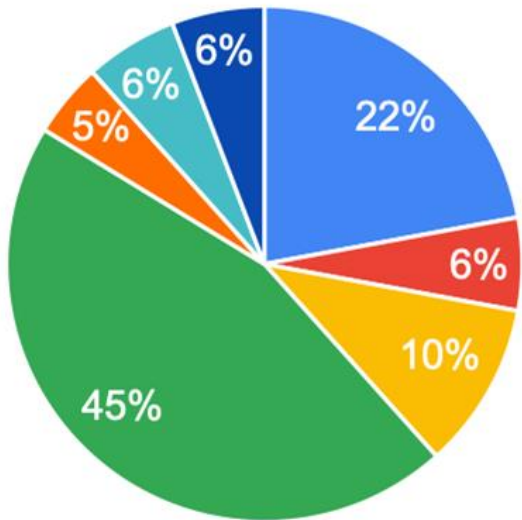
サービスの認知度が低く、

単位互換制度の利用者は1割に留まる

→活用しないのではなく知らないという**無知の状態**

希望する勤務地

希望勤務地



- 仙台市内
- 宮城県内（仙台以外）
- 東北地方（宮城県以外）
- 関東首都圏
- 他地域（大阪、愛知、北陸）
- どこでもよい
- 未定

半数近くが関東首都圏を選択
仙台に残るのはたった2割

仙台を離れる理由



このままでは
選ばれない都市
になってしまう



- ・ 「学都仙台」という言葉は聞いたことあるが、**意味の浸透率**はあまり高くない
- ・ 学生が多い街にもかかわらず、**同じ学校の学生との交流**に留まってしまっている
- ・ 既存のサービスに対して認知度が低く、**各種サービスの充実、PR**が求められる
- ・ 「働く場所」とした場合に、**やりたい職や企業の少なさが課題**と言える

学生と地域・街に
情報の偏りが存在する



大学

授業・ゼミ
サークル
施設利用

収入
研究力
実績

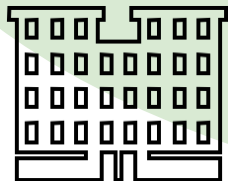


学生

納税



社会インフラ
学生優遇制度



行政

地域・街



労働力
(バイト・採用)
顧客・家賃
仲間(?)

バイト・インターン
ボランティア
利用(飲み会等)
就職



企業・店舗

学都として学生にするべきこととは？

はじめに

アンケート

仮説

インタビュー

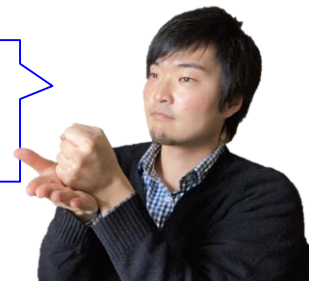
実行案

まとめ



他大学の人や地域との繋がりが不十分。
でもどうやって繋がれば良いのか分からないのではないかな？

サークルやバイトだけでは偏った繋がり・情報しか得られないと思う。
でもComfortable Zoneから自ら抜け出せないのでは？



そもそもなんとなく大学に通っている人が多いと思う。
学生に必要なものは何か、教えてあげる機会が重要だと思う。



仮説②：“無知の知”を知る問題提起が必要なのではないかな？

インタビュー①・②

はじめに

アンケート

仮説

インタビュー

実行案

まとめ

① 都市デザインワークス

学生が多い（仙台市5万人）＝学都ではない

研究や企業とのビジネスで効果を生み出してこそ
大学がある存在意義

多様性

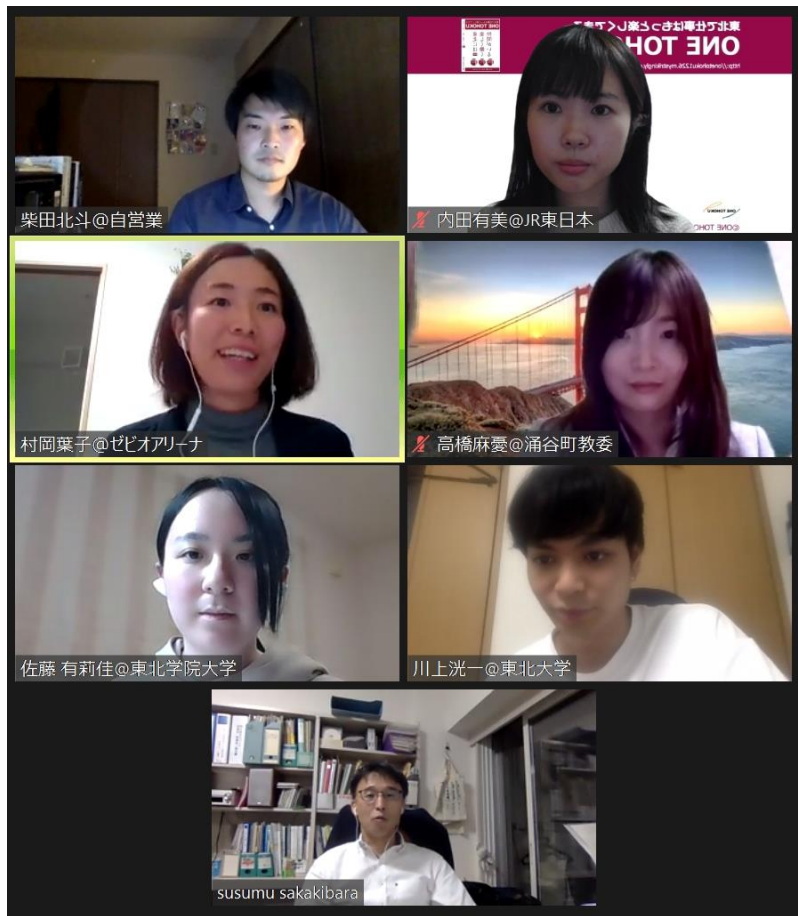
キャンパスやまちの境がないのが理想の都市

② enspace

学生インターンに参加しようと思った
きっかけの主要因は「ひと」

学生個々人の強みを運営に活かすことを心掛ける

心的安全性が確保されていると
より学生が挑戦できる





仙台市は「ひととのタッチポイント」を多く作り出すことが、共生のまちづくりの鍵なのでは？



まちづくり計画
市民が参画する
隙間がない



未完成の利
計画に創造部分がある
市民が参画する
「余白」



- ③ 大学コンソーシアム京都
- ④ 金沢まちづくり学生会議

大学生が**制度設計**
段階から関与

ファンをつくる



インタビュー①・②

はじめに

アンケート

仮説

インタビュー

実行案

まとめ

① 都市デザインワークス

「学都」とよく耳にするが、実際に行われている活動とは、理想のまちは？

→東北学院大学のマスタープラン策定に関わっていた企業に取材

・学生が多い＝学都ではない

→研究や企業とのビジネスで効果を生み出してこそその価値

・商店街は学生にまちに戻ってきて欲しい

→ボランティアやアルバイトを労力として捉えてしまう

→**キャンパスやまちの境がない**のが理想

・大学全入時代になり、大学生は管理される方向に進んでいる

→大学にはより**多様性**が求められる

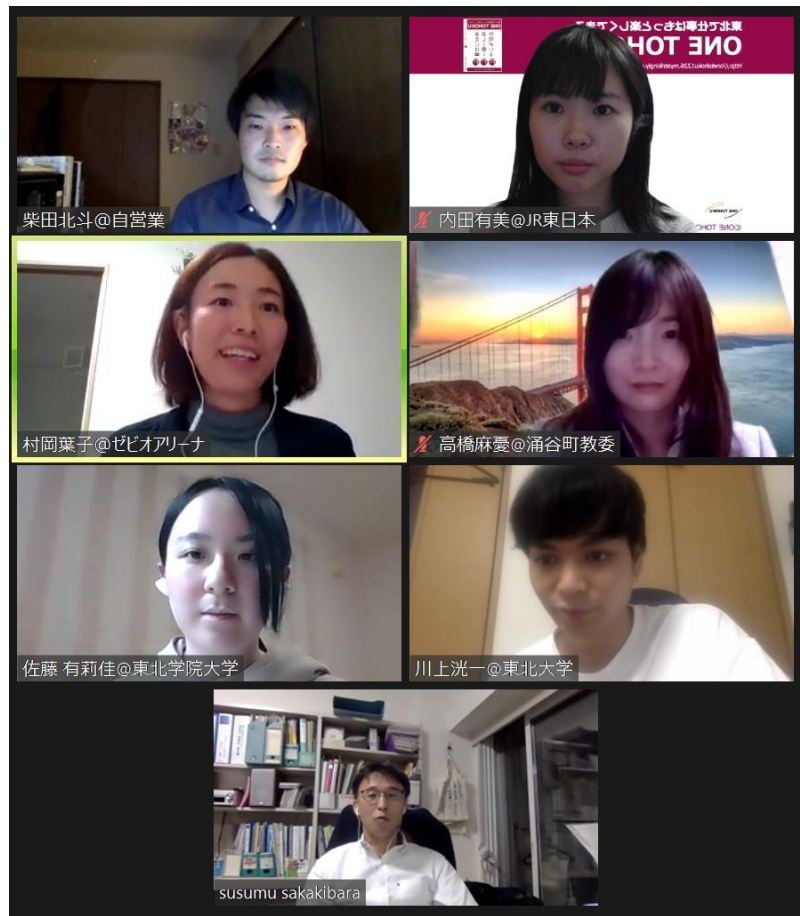
② enspace

大学生を中心として考えた際、つながりや情報のバランスに偏りがあるのはなぜか？

→学生インターンが活躍している企業に取材

・学生インターンに参加しようと思った**きっかけの主要因は「ひと」**

・学生個々人の強みを運営に活かすように支援



仙台市はハード面では既に住みやすいので、「ひととのタッチポイントを多く作り出せれば」、共生のまちづくりにつながっていくのでは？

→ 課題があつたり、完成されていない自治体、コミュニティの方が外から入りやすい

→ enspaceは「余白」があることで、学生がやりたいことが実現できている

③ 大学コンソーシアム京都～「大学・学生のまち京都」における連携活動について取材～

・人口に対する学生数割合が全国大都市の中でトップ

→ 大学生はまちを支える社会基盤（アカデミックインフラ） ex)京都駅前に活動拠点となる施設を建設

・モデルケース、地域のニーズを制度設計の時点に取り入れる ⇒ **学生は制度設計の段階から関わっている**

④ 金沢まちづくり学生会議～学サポのアプリ運用に至るまでの経緯を取材～

・平成22年 学生のまち推進条例を制定

→ 平成28年度 アプリ開発・保守は(株)マナアックに委託し、記事は学生と一緒に考案

・予算に縛りはあるものの、イベント運営企画は大学生主体

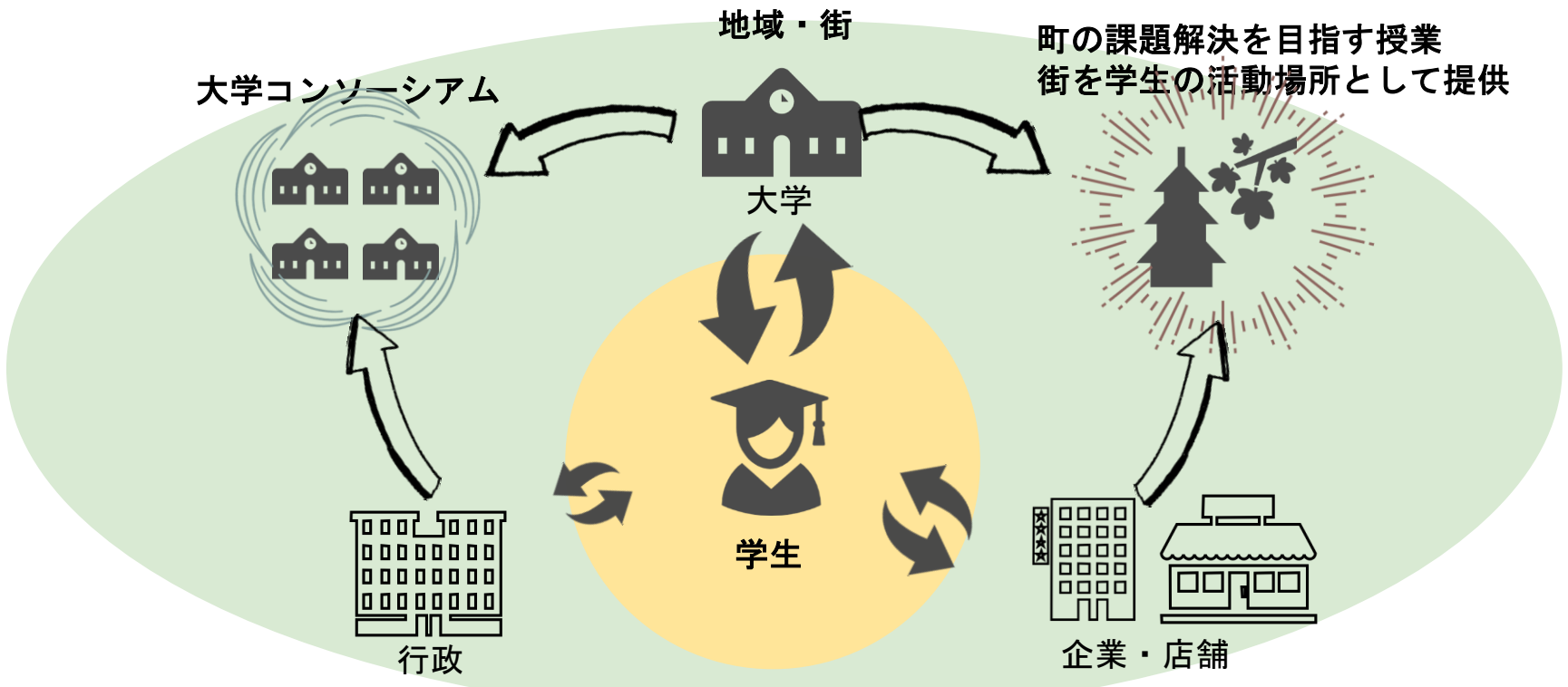
⇒金沢をよりよくしようと思い、**まちに愛着が湧いてきた**

・OPEN CITYのコンテンツ⇒半日かけてまちをツアー、歴史や食を体験できる5つのコースがある

→ 運営会議を進めていくうちに、イベント実施だけではない**やりがい**を感じている

共生についての考察①

我々の調査活動から、学生を中心とした**環境面(マクロ)の「バランスの偏り」が存在する**と考えており、その偏りは、学生を本気で考え、巻き込みながら生まれる企画やコラボにより整えていくことができる。



作業になっていないか？ 本当に学生がわくわくするものを創れているか？ 今回の発表自体が一つの問題提起

共生についての考察②

はじめに

アンケート

仮説

インタビュー

実行案

まとめ

我々の調査活動から、**学生間での「つながりや情報の偏り」も存在する**と考えており、その偏りは、受け身な学生が、新たな世界に気付くような「良い問い」により整えていくことができる。



活動的な学生

たまたま知る→とりあえずやってみる
偶然SNSやHPで見つける
よくわからないけど参加してみる

つながりを大切にする
先輩からの紹介
イベントの中で誘われる



活動的でない学生

情報を知らない知っていても使わない
学生向けサービスについて「知らない」が優勢
知っているが活用したことがない人も多い。

つながりの必要性がわからない
経験が無く魅力を感じないため、関わる必要を感じない
「関わっていないことが日常であり、その状態に満足」



つながりがつながりを生む
他学部・他大学・社会人・地域の人
学生団体・行政・企業・NPO など
出会いから新たな情報を得て
さらに新たな挑戦を行う

「つながりや
情報の偏り」



同質性の高い環境で過ごす
同大学・同学部・高校の友人
バイト先 など
受け身・流される学生生活

▶ 「無知の知」に気付くような「良い問い」が必要

ここまでの仮説・検証をもとに

「Teamくまのみ」では

こんなアクションプランを実行！

Borderless Campus in Sendai

～仙台の街全体をキャンパスに～

対象 : 仙台の大学等へ入学する新1年生

参加費 : 無料

時期 : プレイベント3月頃
オンラインイベント4月～5月開催

目的 : 新入生の横の繋がりを作る
充実した学生生活を送るための
スタートダッシュをサポートする

広報 : 仙台市に後援してもらい、各大学へ案内

★アイデア★

- ①プレオンラインイベント
仙台という街を知ってもらうきっかけ
- ②ロールモデル（学生、社会人）
- ③PR動画作成
- ④スタディツアー

しくじり先生

大学デビューで失敗した私が JTBで東北の盛り上げに携わるまで

～大学生活でやるべきこと4つ～



- 名前 : 手島慧
- 出身地 : 宮城県仙台市
- 大学 : 関西の大学。国内・海外（30か国42都市、47都道府県300都市巡り）を放浪。
- 勤務 : 株式会社JTB、合同会社イーストタイムズ
- 趣味 : 海外国内外街歩き・人間交流・おいしい店新規開拓
楽天イーグルス・本屋巡りなど

✓ひがし茶屋街周辺を散策して金箔貼り体験とインスタ映え間違いなしの大福が食べられるコース

✓加賀友禅の染色体験ができるコース

✓和菓子消費量全国1位にちなんだ和菓子作り体験

→どれも**金沢らしさ**が感じられるコース編成になっている。

金沢は小京都と呼ばれるくらい街の雰囲気が高く、金箔や加賀友禅などの伝統工芸品に触れることができる機会にもなる

テーマ：仙台のまちを知ろう

大学生になる前に特に知りたかった3点

- ①仙台や地域の情報を得る場所はどこにあるのか
- ②学都の恩恵（サービス）を受けられる場所はどこなのか
- ③仙台の良さを知ることができる場所はどこか

時間：半日程度

移動手段：徒歩・るーぶるバス

スタート地点：仙台駅

①仙台駅からるーぶる仙台を利用して宮城県美術館・仙台市博物館・櫻岡大神宮の源吾茶屋へ

→キャンパスメンバーズ制度が利用できる施設を認知できる

②るーぶるバスを利用して青葉城へ

→仙台を一望できる観光スポット

③再びるーぶるバスで川内を經由してせんだいメディアテークへ

→メディアテークは地域の情報を収集できたり、様々なことに利用できる

宮城県美術館1階 カフェモーツァルト・フィガロ



(引用元：宮城県美術館公式HP)

どちらも特別展とコラボした限定メニューなどが出てくる。常設展・特別展をキャンパスメンバーズでお得に観覧したあとに立ち寄ることができる。

仙台市博物館レストラン三の丸

戊辰戦争一五〇年特別展
特別メニュー

伊達・会津のコラボ^{めし}皿飯

伊達…牡蠣の肉巻き
牛舌の煮込み

会津…鯉の塩焼きイクラ添
鴨の柚子味噌焼き

煮物
栗御飯
仙台油麩味噌汁
お新香
わらび餅

1,800円 (税込)

(引用元：仙台市博物館公式Twitter)

せんだいメディアテーク



(引用：建築|せんだいセントラルパーク (sendai-cp.net)建築)

地域の情報などを知ることができる。
自習スペースや活動場所の提供も行っている。

源吾茶屋 (西公園内)



(引用：仙台で必ず食べたいガイド編集部おすすめのその他カフェスポット|まっぷるトラベルガイド (mapple.net))

西公園内にある源吾茶屋。有名人も訪れる。
ずんだ餅や蕎麦なども食べることができる。
仙台はこのほかにもお茶屋さんが多くある

青葉城



青葉城と騎馬像と仙台が一望できる。
青葉城史料館や護国神社などもある

るーぷる仙台



(引用：るーぷる仙台とは | 仙台市観光シティーバス「るーぷる仙台」(loop-sendai.jp))

仙台の観光スポットを循環するバス
一日乗車券を購入すると様々な施設などが
割引対象になる。

予算...るーぷるバス 1日乗車券
お食事代

630円×人数
1000円前後×人数

協力依頼

仙台市（特にるーぷるを少し多めの人数で利用する可能性があるため交通局の方）

源吾茶屋（団体予約などしておく）

カフェモーツァルト（同上）

レストラン三の丸（同上）

せんだいメディアテーク

特定非営利法人・仙台城ガイドボランティア会

①**仙台や地域の情報**：市民活動サポートセンター、青葉区中央市民センター

→市民の活動、交流拠点となる他、各種情報が入手可能

②**学都の恩恵**：HELLO, VISITS、enspace

→多様な学生・社会人と関わることで、自分の視野が広がる

③**仙台の良さ**：朝市、阿部かま、いろは横丁、芭蕉の辻

→食を中心に仙台の魅力を満喫



仙台朝市



引用：<https://www.sentabi.jp/guidebook/attractions/48/>

70ほどの店舗が並び、旬の魚や新鮮な野菜、果物など様々な食材と賑わいを体感
「仙台の台所」として、多くの人々に親しまれる

阿部かま



引用：<https://www.abekama.co.jp/store/>

仙台名産笹かまぼこの老舗No.1
名物のひょうたん揚げや季節限定商品の他に、
手焼き笹かま体験が楽しめる

いろは横丁



引用：https://gurutabi.gnavi.co.jp/a/a_1480/

昭和レトロを感じる70年の歴史を持つ横丁
物販、飲食、娯楽で賑わう仙台の穴場スポット

芭蕉の辻



引用：https://michinoku-ja.blogspot.com/2014/12/blog-post_2.html
<http://www.t-aterui.jp/miyagi/m-basyounotuji.htm>

江戸時代に仙台城の城下町の中心地であった十字路
城の大手門から延びる大手通と奥州街道が交差

仙台市民活動サポートセンター



引用：<https://blog.canpan.info/fukkou/profile>

市民活動に関するイベント情報を閲覧
ボランティアや市民活動など幅広く相談
市民・企業・行政などをつなぎ、活動を支援

青葉区中央市民センター



引用：<https://www.hm-sendai.jp/siminc/sisetu/aoba01.html>

生涯学習、交流、地域づくりの拠点であり、
市民活動を支援
体育館やホール、調理室が利用可能

HELLO, VISITS



引用：公式Twitter (@hello_tohoku) より

学生であれば無料でドリンク、Wi-Fiを利用可能
先輩の学生への相談、社会人との交流により新たな自分の発見につながる

enspace



引用：https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2019-12-03-44010-9/

東北最大級のシェアオフィス・コワーキングスペース
社会人との交流イベント、学生の起業を支援のほか、
長期インターン生としての活動も



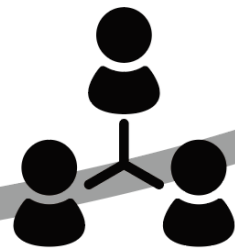
だらだらとした学生生活を送るのではなく…



街への第一歩を
踏み出し

多様な人・街と
繋がりながら

仙台ファンとして
チャレンジな人材に



私たちは、オンラインイベントの開催やスタディ
ツアーなど第一歩を踏み出す手助けをします

Team くまのみ

機会

「自分ごと」としてのまちづくり

連携

学生、社会人の枠を超えた繋がり

意識

まちづくりへのモチベーション・意識の変化



行動を起こすためのスタートライン

今日この場にいる皆さんを巻き込んで！



より良い仙台のまちづくりのために一歩を踏み出します!!

